

2015 新年講演会・交流会 ご案内

テーマ：**産学官連携における技術士の役割**

— **技術士の活躍場の創生** —

I. 日時：2015年1月17日(土) 14:15～18:30

II. 場所：ワークプラザ勝田 2F 大会議室

〒312-0001 茨城県ひたちなか市大字東石川1279番地

TEL 029 - 275 - 8000 (代)



III. スケジュール

1. 受付開始 (13:30～)
2. 開会式 (14:15～14:30)
3. 講演会 (14:30～16:45) 《CPD 対象》
 - 講演 1 (14:30～15:30)
『**産学官連携における技術士の社会貢献事例の紹介**』
技術経営研究センター 所長 技術士(機械) 松井 武久 氏
 - 講演 2 (15:45～16:45)
『**産学官連携 4.0時代に向けて**』
(有)つくばインキュベーションラボ 取締役 上原 健一 氏
4. 交流会 (17:00～18:30)

IV. 申込先：2015年1月7日(水)迄にお申込みください。

- ・日本技術士会 HP 会員コーナ「CPD 行事等予定」又は
下記様式により支部事務局の E-mail 又は Fax でお申し込みください。
- ・お問合せ先： TEL 029-219-5154 (担当：小林)

V. 参加費：①講演会費：・技術士会会員・一般 1,000 円、・非会員 2,000 円

②交流会費：4,000 円

※参加お申込者は1月13日(火)迄に下記「ゆうちょ銀行」へお振込ください。

●お振込先

a.郵貯間送金の場合： 記号：10690、番号：22896131

シャ)ニホンギジュツシカイ イバラキケンシブ

b.他行から送金の場合： 店名：068、店番：068、口座番号：2289613

シャ)ニホンギジュツシカイ イバラキケンシブ

講演概要・プロフィール

講演1 『産学官連携における技術士の社会貢献事例の紹介』

技術経営研究センター 所長 技術士(機械) 松井 武久 氏

●講演概要

経済発展には「研究開発」が不可欠である。しかし、日本の財政赤字は1000兆円を超え、公的研究機関(大学および独法)への予算は削減され、このままでは日本の将来が危うい。その対策として「産学官連携による産業・地域の創生」が急務であり、その中核となる人材として技術士(特にシニア)の活躍が期待される。筆者は10年近く、幾つかの組織に所属し、産学官連携のコーディネータとして中小企業の支援活動をしている。その代表例として、アメリカのボランティア組織 SCORE (Service Corp Of Retired Executive) をお手本に、第一線を引退したシニアエンジニアがこれまでの経験・知識を活かしてベンチャー企業を支援する活動の場「日本型(J-SCORE)」の紹介をし、参加者からご意見・ご支援を頂きたい。

●プロフィール

出身は山口県萩市、尊敬する人は吉田松陰、座右の銘は「夢は人生を豊かにする」です。

2009年にサラリーマン生活を終えたのを機に、技術経営研究センターを設立し、「ボランティアとコンサルタントの両立」を基本理念としています。主たるコンサルタント事業は、①桐蔭横浜大学大学院講師(技術経営)、中小企業支援(顧問契約6社)、人材育成(セミナー)です。一方、主なボランティア活動(社会貢献)としては、日本工業技術振興協会、夢追いサロンつくば、総合科学技術研究機構、日本技術士会、シニアエキスパートフォーラム等、数多くの組織・団体に所属し、中小企業(ベンチャー)の開発から事業化までの支援を行っています。

講演2 『産学官連携 4.0時代に向けて』

(有)つくばインキュベーションラボ 取締役 上原 健一 氏

●講演概要

近年の産学官連携活動が日本で活発化して15年以上が経過した。

本来は、産業界と大学が交流し、企業は新事業を見出し、大学等は第三の収入源を確保し社会の活性化を図ろうとした。しかし、昨今の産学官連携ムーブメントはリーマンショックの頃に分水嶺を迎え、現在は今後の方向性を模索している段階ではないかと感じている。当初、多くの関係者が素朴に発想した、大学などが有する多くのシーズと企業が持つ多くのニーズをマッチングできるとの主張は幻想であった。それでも産学連携活動は、社会にとって有意義であり今後も必要なものである。今後をどのように考えていくのかについて、海外の事例も交えながらお話したいと思っている。

●プロフィール

神奈川県生まれ。筑波大学卒、大学院修了。日本鉱業(現 JX 日鉱日石)企画開発本部、(株)JAFCO を経て、承認 TLO(株)筑波リエゾン研究所代表取締役、民間ビジネスインキュベーターである(有)つくばインキュベーションラボ取締役を務める。この間、多くのベンチャー企業などの社外取締役・監査役を務める。その後、日本工業大学大学院技術経営研究科教授、筑波大学産学リエゾン共同研究センター教授を経て、現在ベンチャーキャピタルのつくばテクノロジーシード(株)取締役やつくばインキュベーションラボ取締役として農林水産業の事業への投資やコンテンツクリエイター支援などを行っている。また、日立地区産業支援センターにて起業希望者からの相談にのりながら、茨大や筑波大などで現在も非常勤講師をしている。

2015 新年講演会・交流会参加申込み

公益社団法人 日本技術士会 茨城県支部 行

E-Mail ; ibaraki@engineer.or.jp FAX ; 029-265-5558

氏名		部門名	
会社又は機関名		部署・役職名	
会員の有無		E-Mail	
Tel		Fax	
住所			
<input checked="" type="checkbox"/> 参加の有無	<input type="checkbox"/> 講演会 <input type="checkbox"/> 交流会	お振込日	平成 年 月 日
	※今回から、参加費は事前お振込となりました。 ①講演会費；・技術士会会員・一般 1,000 円 ・非会員 2,000 円 ②交流会費；4,000 円 ●平成 15 年 1 月 13 日(火)迄にお振込ください。 振込み予定日： 月 日		
その他 ご要望等			